

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

社会科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICTの活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 予想や、その根拠を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題を確認する。 ● 前時までに学習した内容の中から、本時の学習課題に関することを確認する。 ● 本単元の内容と現代社会の関連性について考え、問題と改善に必要な事柄について自分で考える。 ● 写真や資料を見て、その根拠となる事実を予想し、なぜ、そのような出来事が起こったかを自分で推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題の提示を行う。 ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、前時までに学習した内容から、本時の学習内容に関係した内容を提示して確認させる。 ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題に関する画像や動画を視聴させる。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えと他人の考えの相違について、相手の意見を尊重し、自らの考えを更に深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自が立てた予想や推測について根拠を付けて発表し、全体で検討する。 ● 一人ひとりの意見を否定することなく、なぜ、そのような予想にたどり着いたかを具体的に話せるように話し合いを展開する。 ● 自分の意見と他者の意見の共通点や相違点を見だし、どのように結論づけることが最も納得できる結論になるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントを使い視覚的な提示を行うことで、生徒に対してより具体的な発問をする。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のまとめを行う。 ● 本時の学習内容と日常生活の関連について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時で学習した内容を整理してまとめる。 ● 本単元で学習した内容と、似た事例や更に発展していった事例を提示し、社会の中で起こっている出来事が、更に大きな問題へと発展していつていることや、逆に世界的に解決に向けての取組が進んでいることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の国々の様子を紹介するときに、特徴がある映像を生徒に紹介する。 ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、本時のまとめを行う。